

福祉学習を一緒に考えてみませんか？

市社協では、学校・企業・地域で実施される福祉学習に地域にお住まいの福祉関係者や当事者の方に企画段階から参加して頂く、福祉学習の基盤（プラットフォーム：**市社協では「まなび場」と呼称**）づくりを推進しています。

福祉をテーマとした学習を企画する場合、下記のような問題に悩まされませんか？

去年とは違った福祉学習
がしたい！
どんな事をしようかな？

でも、あまり手間も人も
お金もかけれない…



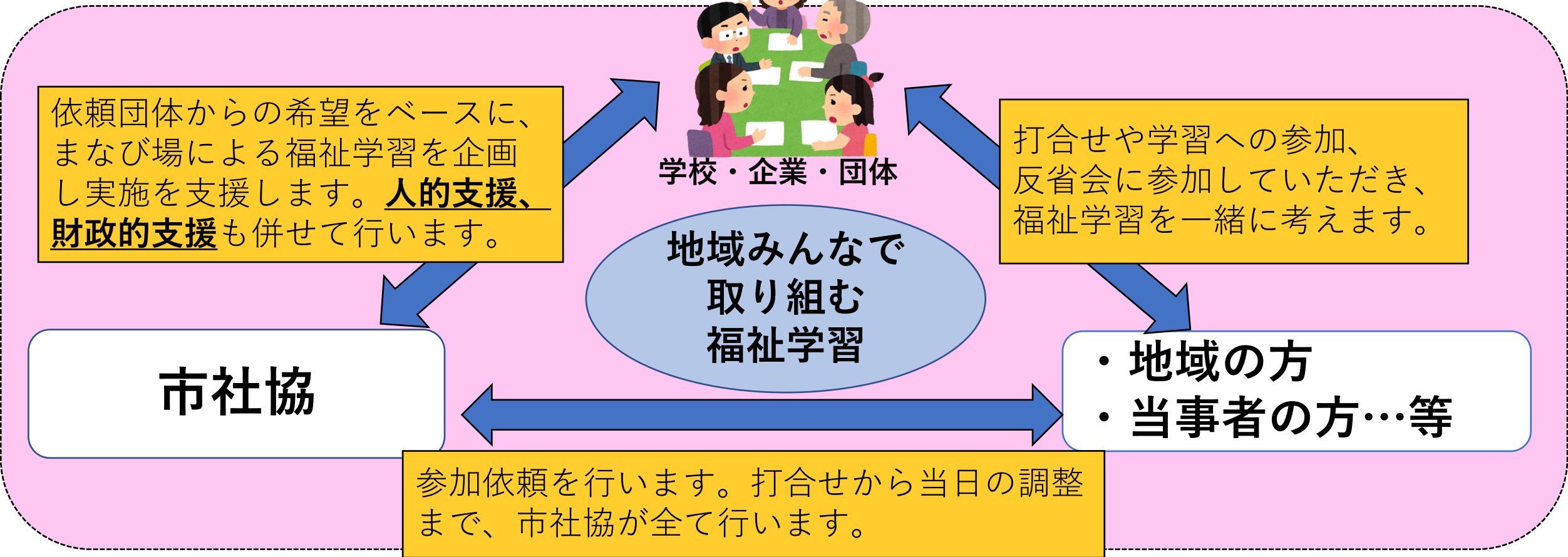
当事者の方や専門の方から
いろんな話が聞いてみたい！

でも、どこに頼んでいいか
わからないなあ…

それ、市社協が解決します！

実施団体の希望をベースに福祉学習を一緒に考えます。地域の福祉関係者の生の声や、資源を利用した弾力的な福祉学習を企画いたします。

まなび場のイメージ



【想定される参加団体】

企画から実施、反省会まで参加を依頼し、実施時には講師やアドバイザー、オブザーバーで参加します。
地区社会福祉協議会・地区民生児童委員協議会・地区老人クラブ・地域包括支援センター・地区サロン・人権福祉センター・福祉施設（介護保険施設・小規模多機能事業所・作業所 等）・民間事業者・学校
その他福祉団体（身体障がい者福祉協会・聴覚障がい者協会・視覚障がい者協会・手をつなぐ育成会等）